

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9145		事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事業						短縮コード	経常	9145	臨時	
予算区分	会計	37	後期高齢者医療特別会計	款	01	総務費	項	02	徴収費	目	01	徴収費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
後期高齢者医療制度の保険者である千葉県後期高齢者医療広域連合により賦課された保険料について、期割や徴収方法を決定し、保険料を徴収する業務です。未納者については、督促状や催告書の発送と並行して、電話催告や臨戸訪問等を行います。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして							
滞納者の多くは、制度改正前の国民健康保険料や市民税等も滞納しており、管理の一元が求められている。					大項目（節）	01	第1節保健・医療							
					中 項 目	02	2. 医療							
					小 項 目	01	(1)地域医療体制の充実							
					細 項 目	02	②医療費の給付等							
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	後期高齢者医療の被保険者（75歳以上の者及び65歳以上で一定の障害があり認定を受けた者）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 後期高齢者医療保険料を徴収するための事業であるため、保険料の納入通知、督促状、催告書の発送や、滞納者への訪問等を行った。							
	※平成24年度に計画していること： 前年度同様に実施							
意図 （何を狙っているのか）	後期高齢者医療保険料の徴収率を向上させることで、負担の公平と、保険制度の安定運営を目的とする。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	後期高齢者医療被保険者数	人	15,225	16,996	16,268	16,691	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	保険料決定通知書等送付件数	通	18,249	19,680	18,399	18,900	
	指標2	督促状送付件数	通	3,007	4,000	3,789	5,400	
	指標3							
成果指標	指標1	保険料徴収率	%	99.23	99.34	99.3	99.23	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9145	事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事業			所属名	長寿支援課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	3, 737	6, 535	3, 942	7, 157	
	主な事業費の内訳			通信運搬費 1, 804千円 委託料 1, 317千円	通信運搬費 1, 804千円 委託料 1, 317千円	通信運搬費 1, 806千円 委託料 1, 588千円	通信運搬費 3, 026千円 委託料 3, 292千円	
	人件費 (B)			千円	19, 513. 9	16, 788	17, 180. 9	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円		23, 250. 9	23, 323	21, 122. 9	
							26, 470	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☒ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 達成していない					
			☒ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
☐ 可能性はない								
☒ 評価対象外事項								
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外					
		☐ 見直す必要がある						
		☒ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある					
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	年金からの特別徴収及び納付環境の整備（口座振替、コンビニエンスストアでの納付取扱い）による利便性の向上を図り、未納者の減少、収納率の向上に努めている。なお、累積滞納者等については、平成24年4月に設置された債権管理課との連携を図る。				
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☒ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
				2		実施主体 （所管部署）		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☒ ない					

コード	9145	事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			給付環境の整備を行い、収納率向上を図る。また、平成24年4月から設置された債権管理課との連携を図り、滞納処分等の執行を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			後期高齢者医療制度の被保険者は増加傾向にあります。それに比例し事務量は増加しております。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
未納・滞納者への制限措置について、執行の抑止意見が市議会などから寄せられているが、悪質な滞納者を除き原則措置を行わないことが国や広域連合議会で確認済である。									

所属長コメント	保険料を徴収する事業であるため、このまま継続して実施してまいります。なお、累積滞納者等については、平成24年4月に設置された債権管理課と連携を図り、滞納処分等の執行を進め収納率の更なる向上をめざす。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			債権管理課との連携を図り、収納率の向上を目指すこと。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									